

教育の方法・技術

第13講 「行動変容のモニタリング技法」

久世 均(岐阜女子大学)

第13講 「行動変容のモニタリング技法」

【目 的】

20年前のプログラムを経験した学習者を対象に、現在本プログラムをどのように評価し、以後の生活にどのような行動変容を及ぼしたかについて「カークパトリック・モデル（Kirkpatrick Model）の4段階評価」の理論をもとに追跡調査の結果について考える。

【学修到達目標】

- 行動変容とは何か具体例を挙げて説明できる。
 - 行動変容を起こすための仕掛けには何が必要か説明できる。
 - 行動変容を評価する方法について説明できる。
-

事業イメージ

学校

■電子授業参観／学校行事の映像配信

学校の先生により撮影された活動風景をリアルタイム・オンデマンドで家庭に配信



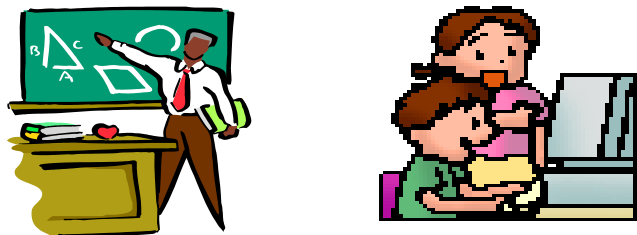
(DVカメラ／画像編集・配信サーバを利用)

■IT授業の実施

教育用コンテンツを利用することにより児童の学習意欲を向上

■学校（学級）便りの配信

学校と家庭間のお知らせや相談等を電子メールにて行うことによりタイムリーな連携を図る



(ITアプリケーション／WBTシステムを利用)

ヘルプデスク

- システム管理
- システム保守
- 運用業務

困ったときの110番として学校・家庭・施設をサポート



家庭

■保護者

- ・学校（学級）便り閲覧／返信
- ・教師との連携
- ・ライブ授業閲覧

■児童

- ・電子宿題
- ・WBT学習



新しい教育スタイルのIT授業、電子宿題を実現

パソコン（ウェブページ）を利用し、好きな時間に宿題、学習が可能

遠隔地（出張先、単身赴任先etc）

■保護者等

- ・学校（学級）便り閲覧
- ・教師との連携
- ・ライブ授業閲覧



出張先や単身赴任先等においても家庭同様に学校行事が視聴可能

教育施設（大学・図書館・海外 etc）

- 情報提供
- 学習支援
- 地域コミュニティ

博物館等の収蔵品を「学校、家庭」で視聴可能



電子授業参観
等の映像配信
・受信

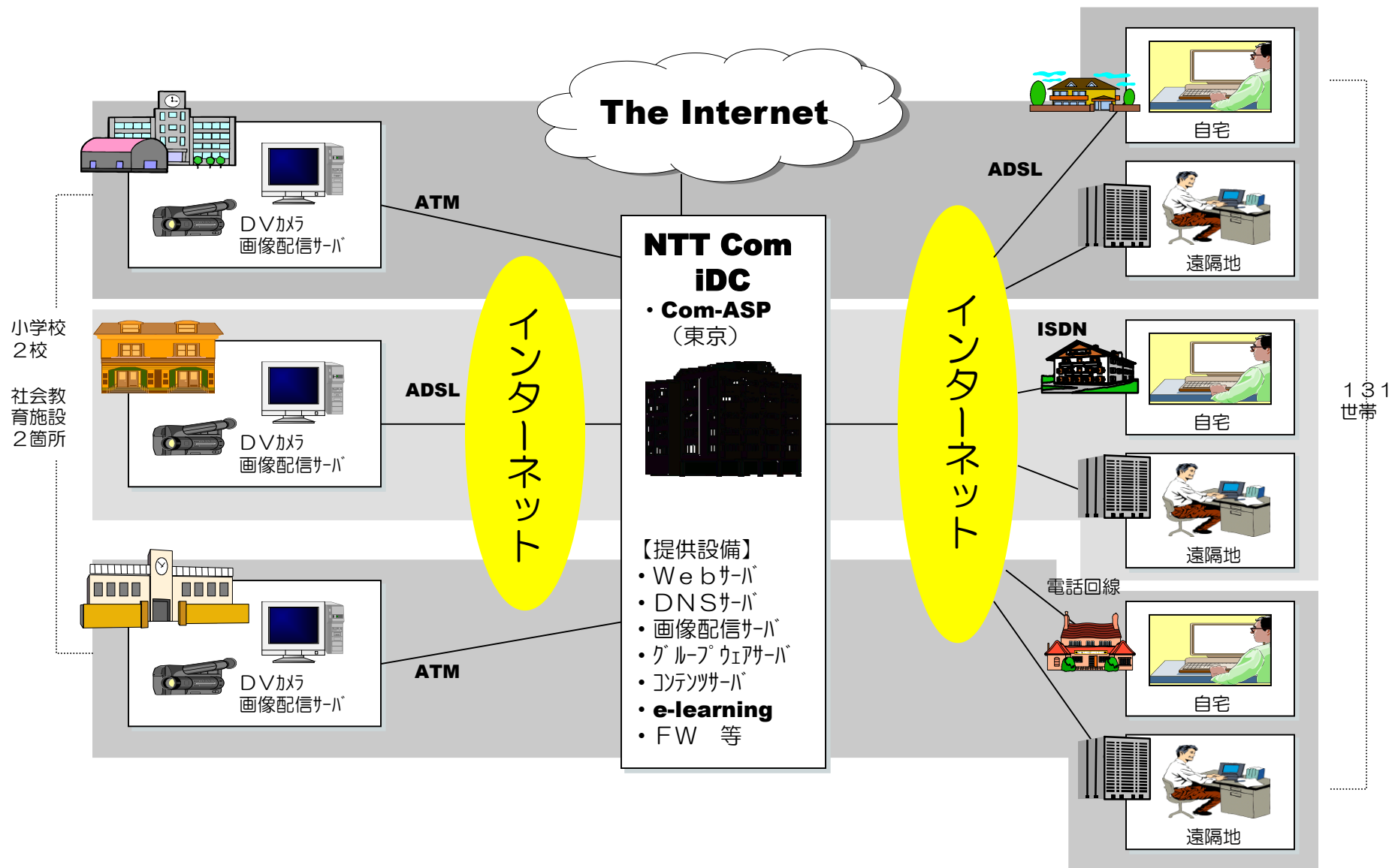
学級便り等の
送信・返信

ブロードバン
ネットワーク

電子授業参観
映像配信

情報配信

システムイメージ



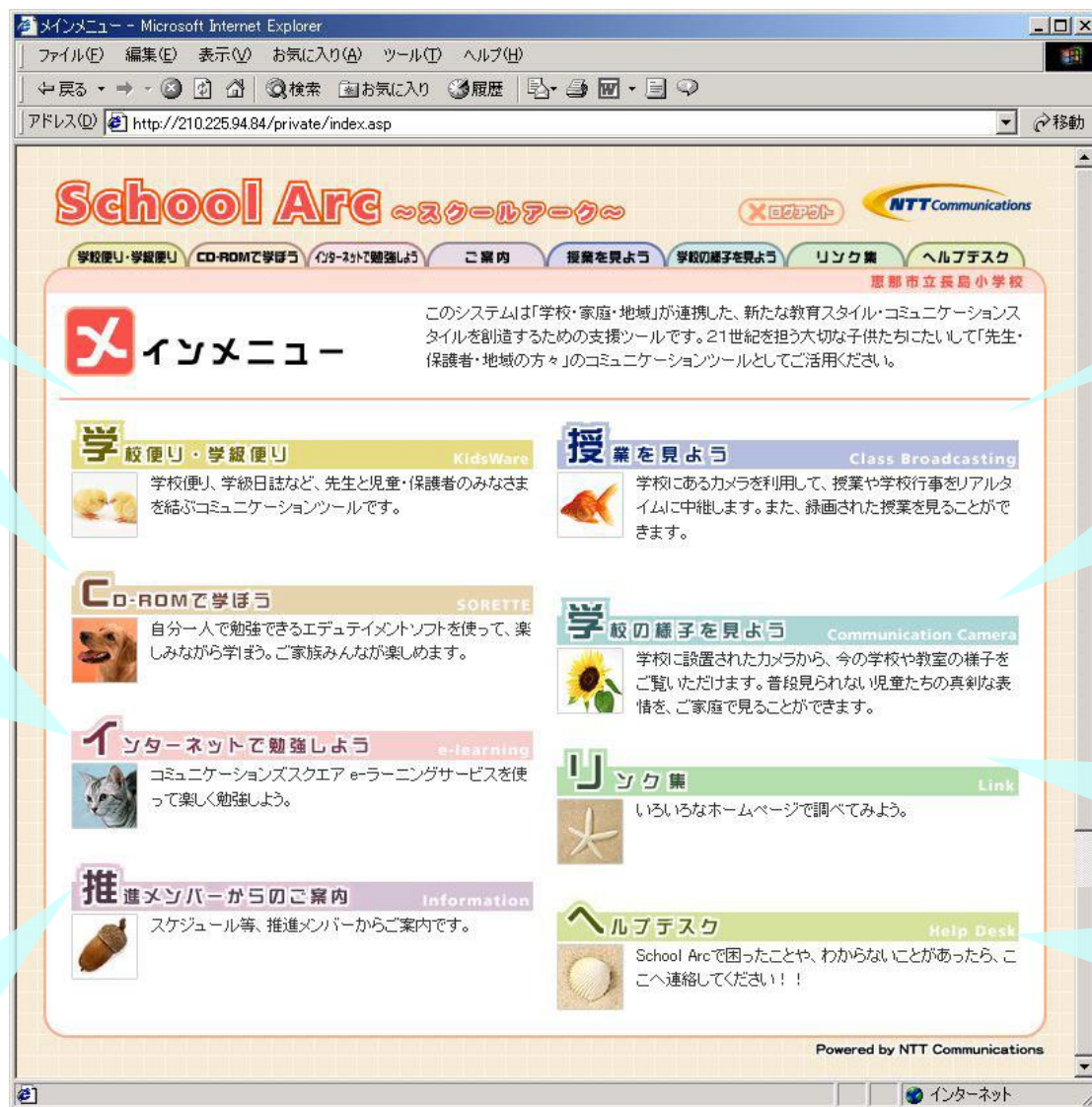
システムのポータルサイトイメージ

学校用グループウェア「キッズウェアシステム」にて学校便り・学級便り・掲示板が利用できます。

CD-ROMソフトが自宅にて学習できるサービス「SORETTE」が利用できます。

遠隔での授業支援サービス「コミュニケーションズスクエア eラーニングサービス」が利用できます。

社会施設や教育委員会等で構成する推進メンバーからのご案内ページがご覧いただけます。



DVカメラを使っての遠隔授業参観等で配信される映像を閲覧できます。

教室に設置されたカメラからの映像をいつでもどこでも閲覧できます。

登録された各種ホームページのリンク集を閲覧できます。

学校・各ご家庭をサポートするお問い合わせの窓口です。

提供サービスのポータルサイトトップ画面

利用状況

学校



【学校に設置された無線LAN装置とコミュニケーションカメラ】

- ・児童たちは1台のパソコンを自宅と学校の双方で利用可能
- ・黒板の脇に設置されたCCDカメラは常時教室の様態を放映（クラス毎の保護者のみアクセス可能）



【学校に設置されたネットワークDVカメラ】

- ・先生は授業や行事をライブ／オンデマンド配信可能
- ・過去に撮ったビデオの配信も可能
- ・カメラは無線LANで、運動場、体育館でも利用可能

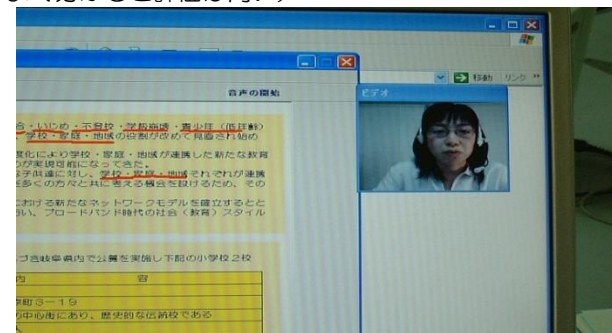
学級便り配信
電子授業参観
e-learning

家庭



【ご利用状況】

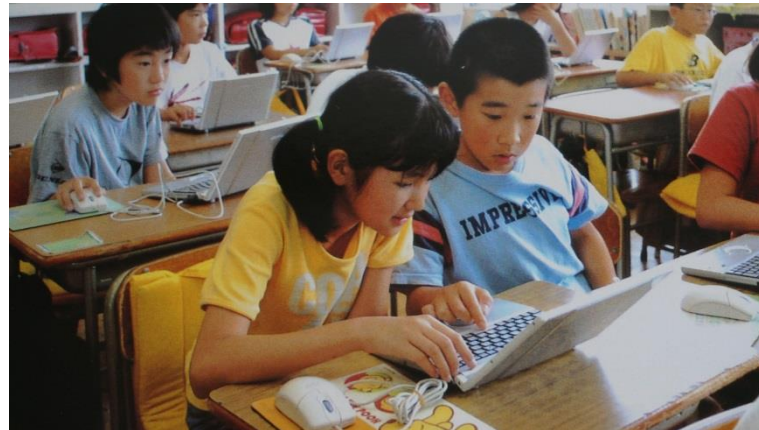
- ・クラス毎の学級便りや掲示板の活用により先生と家庭（保護者）が連携
- ・学校のように授業を動画で閲覧（学校のようによく分かると評価は高い）



【アプリケーションの活用状況】

- ・コミュニケーションズスクエア（e-learning）により遠隔講義に参加
- ・WBTソフトの活用により自学自習を実施

第13講 「行動変容のモニタリング技法」



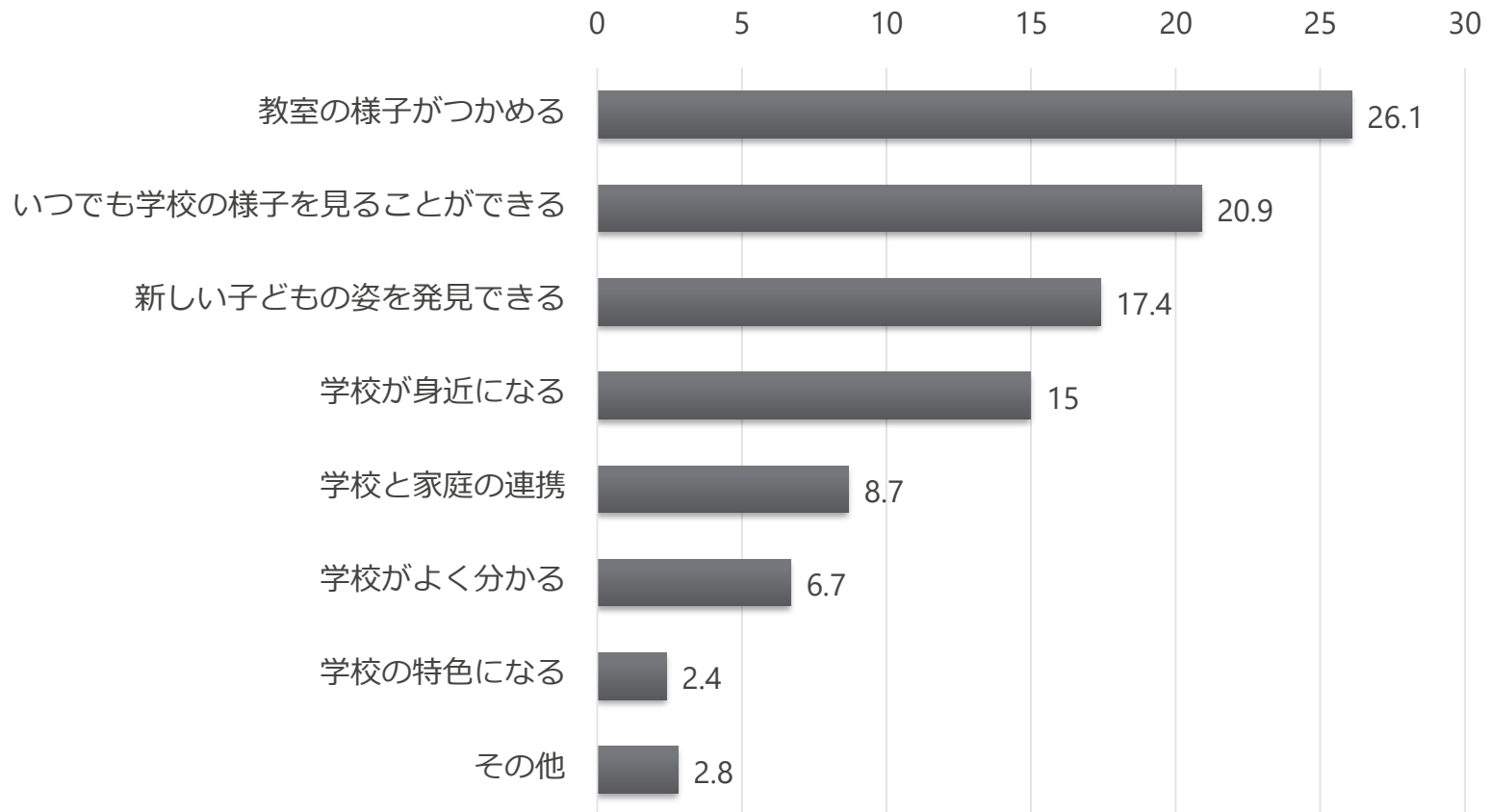
第13講 「行動変容のモニタリング技法

2. カークパトリック・モデル

レベル	内容
1.Reaction（反応）	本プログラム実践直後のアンケート調査等による学習者の満足度の評価
2.Learning（学習）	筆記試験やレポートなどによる学習者の学習の学習到達度の評価
3.Behavior（行動）	学習者自身へのインタビューや他者評価による行動変容の評価
4.Result（成果）	本プログラムによる学習者や職場の向上度合いの評価

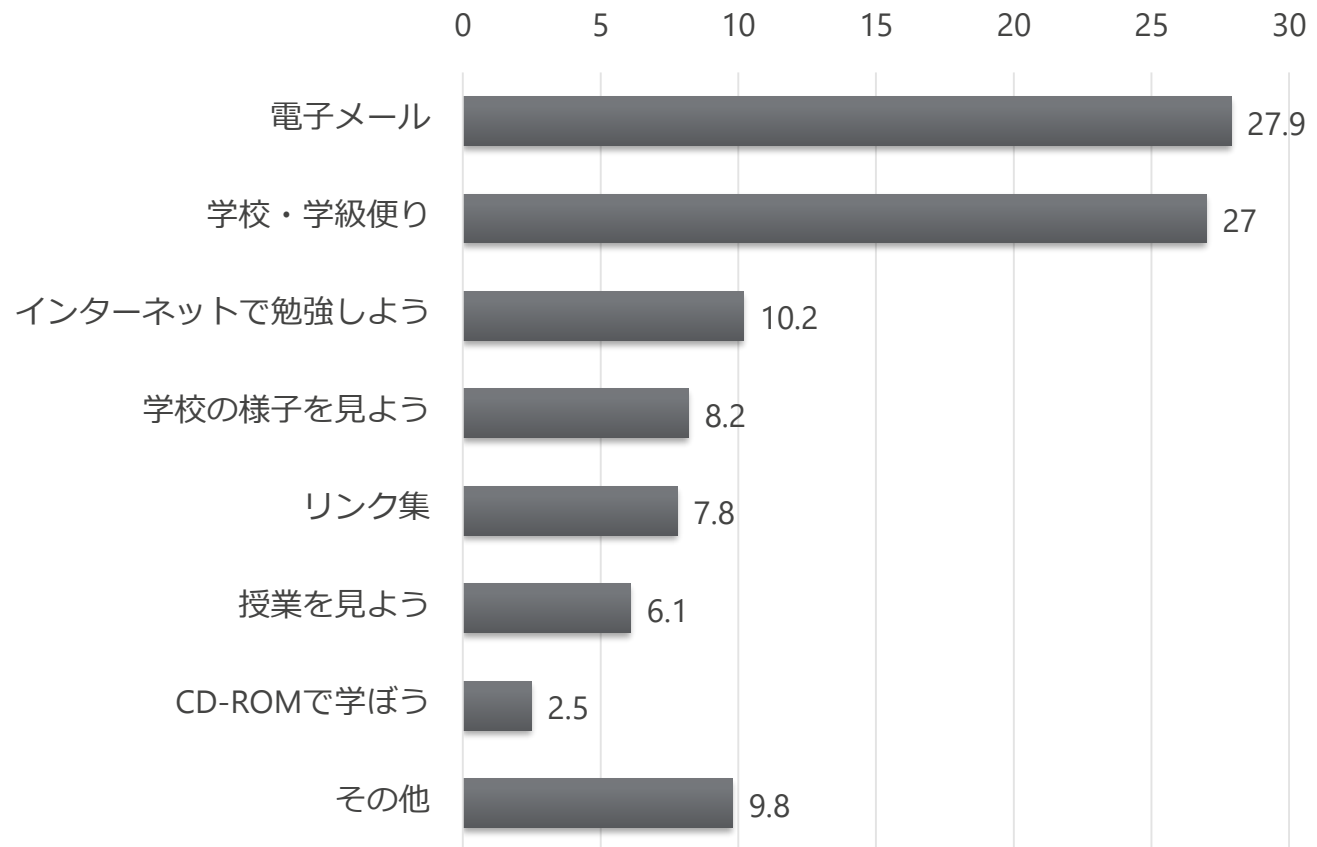
第13講 「行動変容のモニタリング技法」

(a) 「学校の様子を見よう」の効果



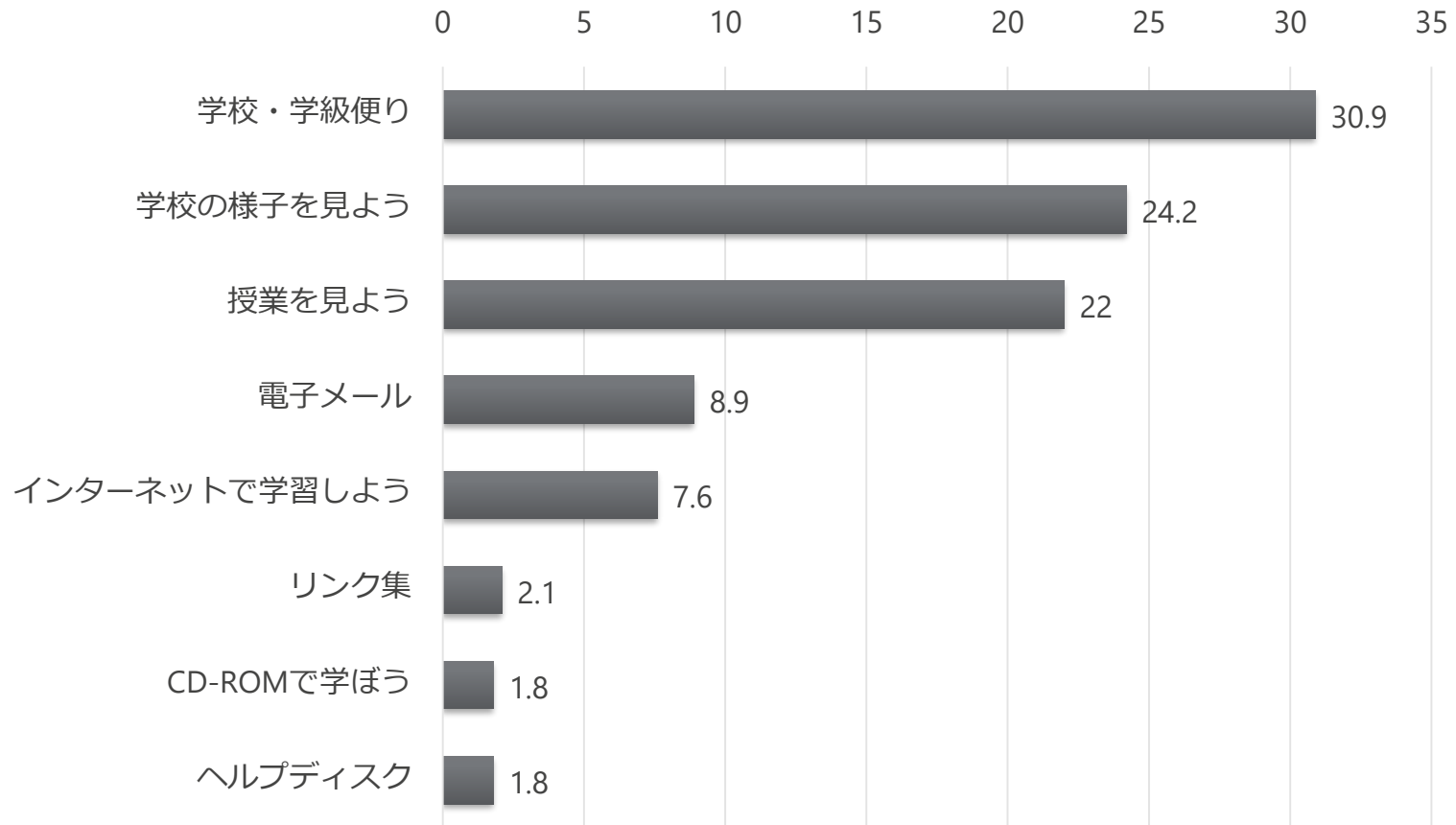
第13講 「行動変容のモニタリング技法」

(b) 子どもが主に利用した機能



第13講 「行動変容のモニタリング技法

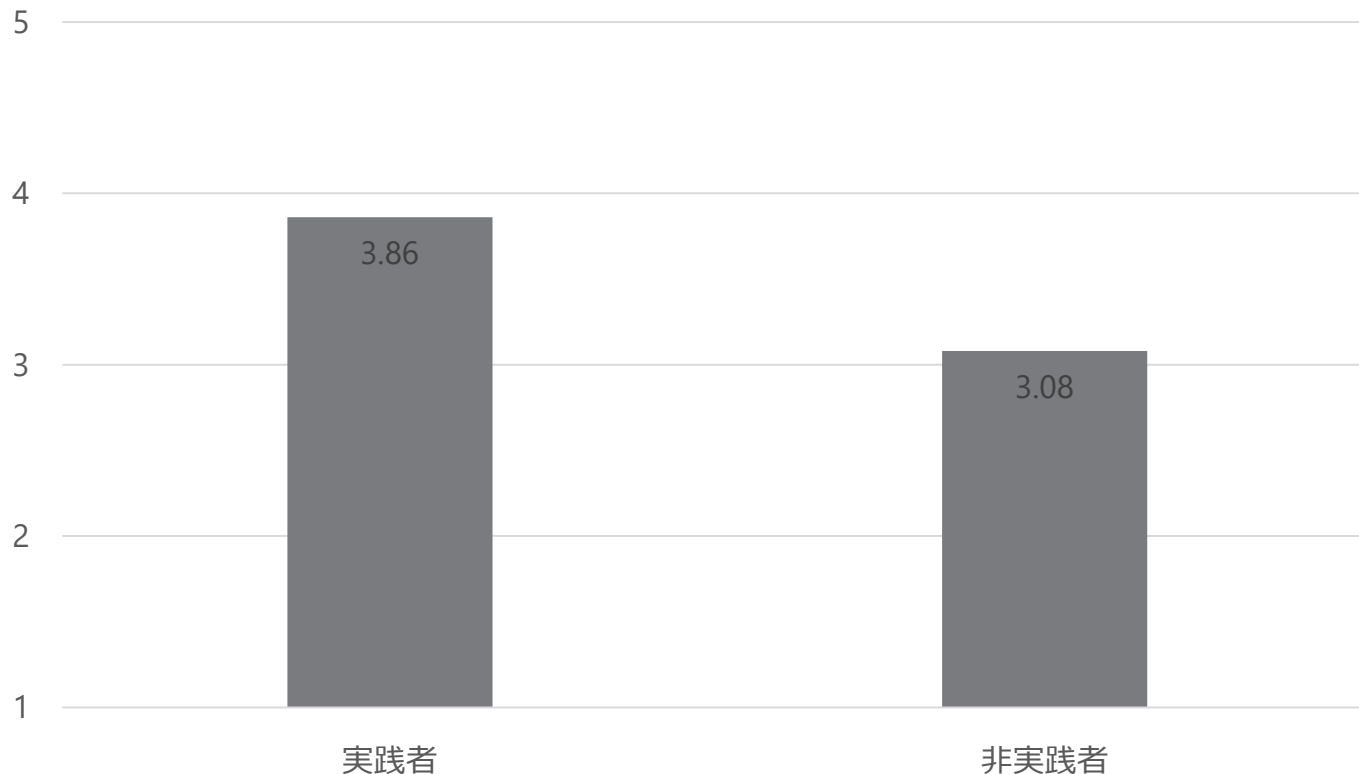
(c) 保護者が利用して良いと思う機能



第13講 「行動変容のモニタリング技法」

4. 実践から10年後の追跡調査

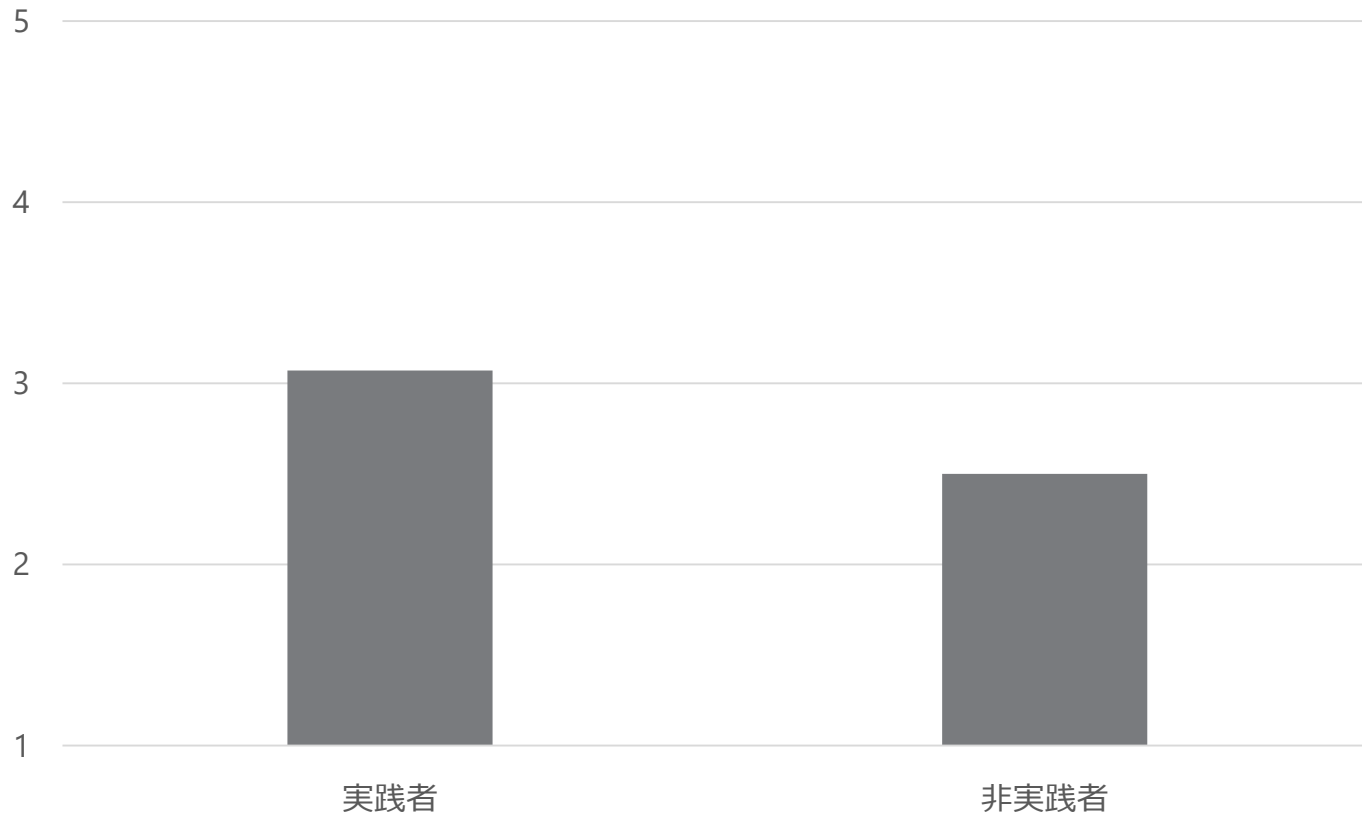
(a) 情報教育の影響度



第13講 「行動変容のモニタリング技法」

4. 実践から10年後の追跡調査

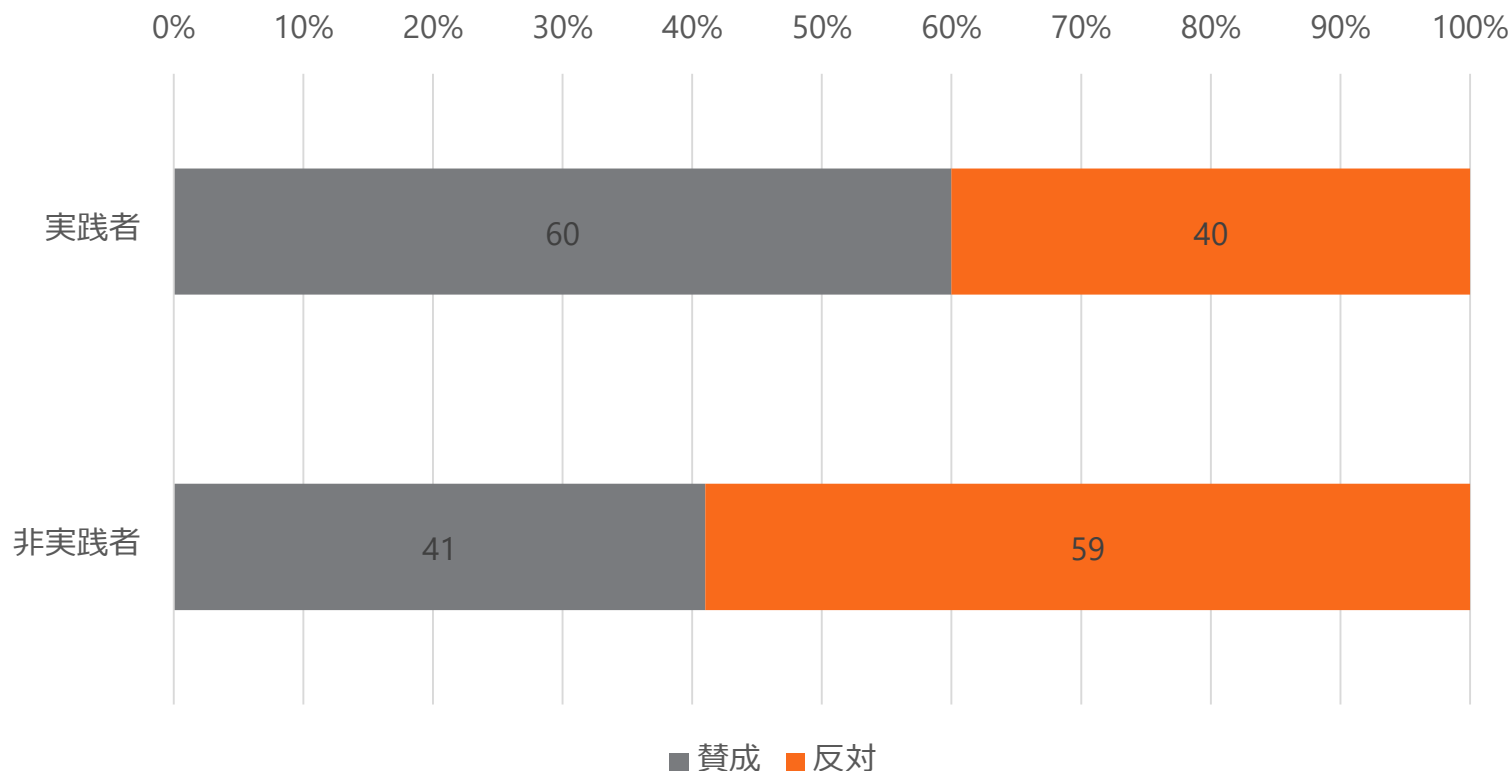
(b)意識の変化



第13講 「行動変容のモニタリング技法」

4. 実践から10年後の追跡調査

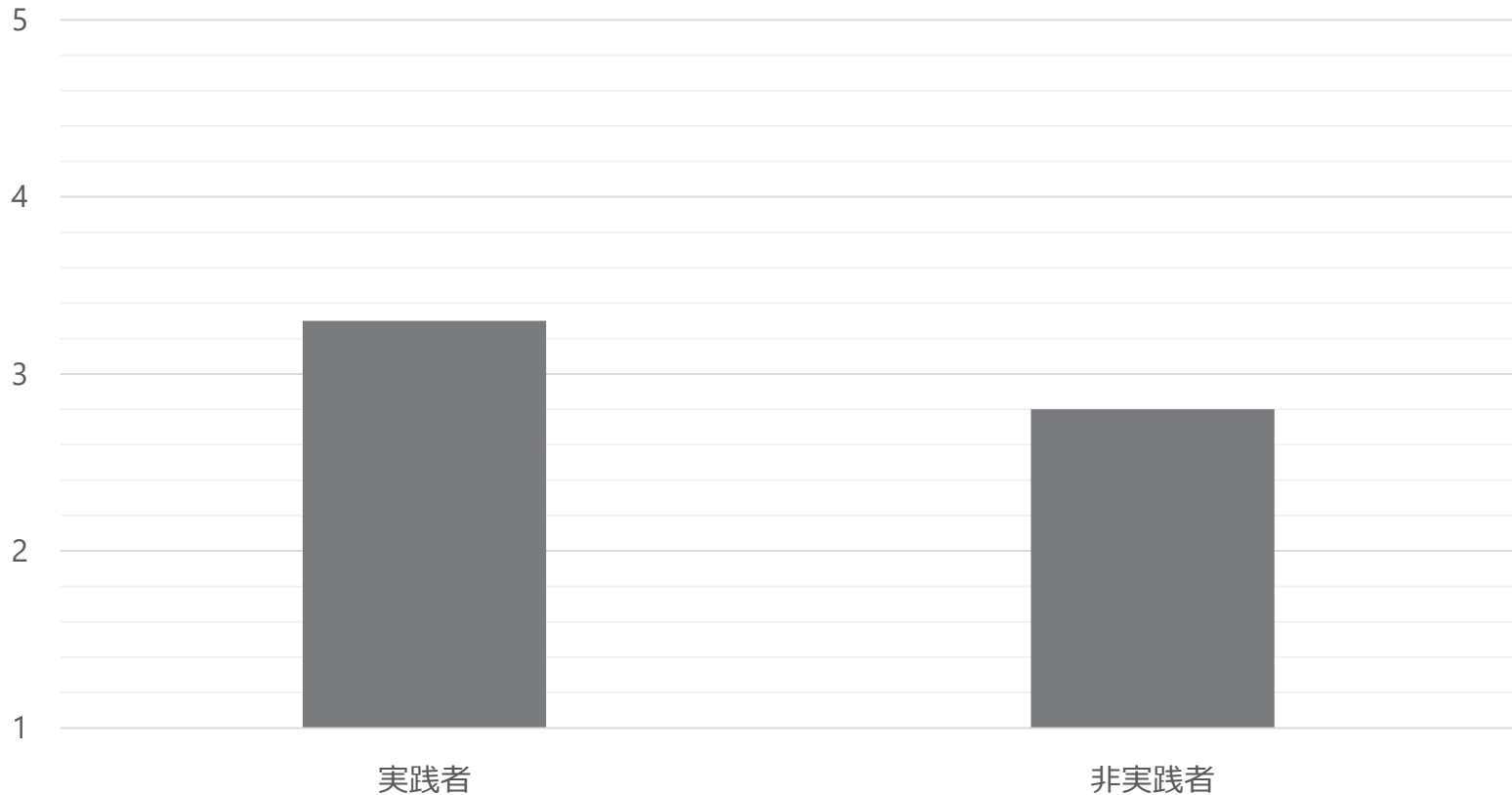
(c) 児童生徒一人1台コンピュータの導入



第13講 「行動変容のモニタリング技法」

4. 実践から10年後の追跡調査

(d)子供への一人1台のコンピュータの導入



課 題

1. 行動変容の評価についてその効果と可能性について説明しなさい.
2. 行動変容を促す研修企画について具体的に説明しなさい.
3. カークパトリック・モデル（Kirkpatrick Model）の4段階評価を活用する事例を考えなさい.

第13講 「行動変容のモニタリング技法」

【目 的】

20年前のプログラムを経験した学習者を対象に、現在本プログラムをどのように評価し、以後の生活にどのような行動変容を及ぼしたかについて「カークパトリック・モデル（Kirkpatrick Model）の4段階評価」の理論をもとに追跡調査の結果について考える。

【学修到達目標】

- 行動変容とは何か具体例を挙げて説明できる。
 - 行動変容を起こすための仕掛けには何が必要か説明できる。
 - 行動変容を評価する方法について説明できる。
-

教育の方法・技術

第13講 「行動変容のモニタリング技法」

久世 均(岐阜女子大学)